

7
JULY
2016



祝 リオ五輪出場決定
がんばれ山室選手！



こ

が

古河

広
報

No.130

写真提供
(株)ヨサミスポーツクラブ



平成28年
第2回市議会定例会
市長報告

「子育て支援の徹底」「教育環境の充実」「雇用の拡大」に重点

平成28年6月7日から第2回市議会定例会が開かれ、菅谷憲一郎市長が市政運営の主な事業執行状況を報告しました。ここでは、内容を要約して紹介します。

なお、市長報告の全文は市公式ホームページに掲載しています。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

合併から11年目を迎えました。今年度は、「第2次古河市総合計画」「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿ったまちづくりが始まる重要な年度となります。

わたしは、第1期基本計画の市政宣言として「若者に選ばれるまちづくり」を掲げ、「子育て支援の徹底」「教育環境の充実」「雇用の拡大」の3つの施策に重点をおき、将来を見据えた持続可能な行政運営に取り組んでいます。

平成29年から本格稼働予定の日野自動車古河工場は、2,000人規模の従業員が勤務することとなります。この大きなチャンスを活かすためにも、定住促進に向けた積極的な施策を展開し、住んでよかった、ずっと住み続けたいと

思っていただけ、古河市を創造していく決意と信念を持って市政運営に取り組んでまいります。

地方創生の取り組み

市では3月に、人口減少社会に対応した「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

この戦略は、人口減少と地域経済縮小の克服を基本戦略に据え、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、市内産業の強化と新産業の創出および定住促進を基軸とする施策を取りまとめたものです。

施策の推進に当たりましては、地方創生推進交付金、地方創生応援税制等の交付金を有効に活用し、古河市の強みを活かし、広く全国に誇れる個性ある魅力的なまちづくりを進めてまいります。



教育文化

小中学生を対象にタブレット端末を活用した授業改善としてプログラミング教育に取り組み、アクティブラーニング(能動的な学習)による児童・生徒主体の授業を展開しています。

【その他、主な報告】

- 「古河塾」で基礎的・基本的な学力の向上や学習習慣の定着を図り、学習意欲を高める指導法を習得する古河塾サポーター研修会を開催
- 中央運動公園体育館サブアリーナ設計業務

健康福祉

就学前の児童に健全な遊びや体験、交流の場を提供するため、駅前子育て広場にプレイルームなどを整備しています。また、子育て拠点施設の整備として、古河赤十字病院跡地へ老朽化した上辺見保育所の移転・建て替えのための基本設計を進めます。

【その他、主な報告】

- ひとり親世帯の児童クラブ負担金、小学校給食費の無償化(対象制限あり。9月から実施)
- 4月から男性不妊治療の助成拡大

生活環境

利根川・渡良瀬川沿いに防災行政無線を15基増設するとともに、放送内容の聞き逃し対応として、流れた情報を無料で聞くことができる電話自動応答装置のサービスを、6月1日から開始しました。

【その他、主な報告】

- 市内3地区の指定避難所に備蓄倉庫を設置
- 防犯対策として防犯カメラ30基と防犯灯66基を設置。既存の防犯灯を順次LEDに交換

コミュニティ・行政

窓口業務のワンストップ化を推進するため、市民総合窓口課を配置しました。また、市民サービスの向上のため、総和庁舎で5月12日から毎週木曜日、午後7時まで一部窓口業務の時間延長を開始しました。

【その他、主な報告】

- 市民が主体となった住民自治の推進に向けて、行政自治組織の活性化を図るため、自治会長・行政区長に委嘱状を交付(4月19日)



▲まちなかの賑わいを創出する「古河ほこてんマルシェ」の開催

- タウンミーティングの開催(7月～8月、20会場)
- 熊本地震の支援として、ふるさと納税制度を活用した災害支援寄附の受付を開始

産業労働

定住促進策としてスタートした「若者・子育て世帯定住促進奨励事業」をさらに拡充し、最大150万円の奨励金を交付します。昨年度は353件の転入相談があり、149世帯(転入者延べ446人)に対し6,770万円を交付しました。

昨年度の住宅着工件数は県西地区首位で、栃木県第2の都市である小山市を上回る1,393件となっています。引き続き定住促進に努めます。

【その他、主な報告】

- 5月8日、「古河ほこてんマルシェ」開催(約3,000人の来場)

都市基盤

4月1日から市内循環バス(ぐるりん号)は、障害者手帳所持者および同乗する介助者1人の運賃を無料にしました。また、地域交通の活性化を図るため新規にバス2台を購入し、JR古河駅東口を起点とした新たなコースで運行します。

圏央道境古河IC開通に伴う市内への企業立地促進を図るため、仁連地区における新産業用地の開発を進めます。

市民の利便性と安全性の向上を図るため、地域要望による生活道路の拡幅改良工事および新設改良工事を実施します。

【その他、主な報告】

- 古河公方公園くぼうに幼児が遊べる水場を整備
- 平成30年度までの3カ年で「都市計画マスタープラン」を見直すとともに、「古河市立地適正化計画」を策定



県境を越え広域行政の連携を強化

関東どまんなかサミット会議調印式

古河市、埼玉県加須市、栃木県野木町、群馬県板倉町で構成する「関東どまんなかサミット会議」に、5月27日、栃木県栃木市が加入しました。災害時の相互応援協定や公共施設の相互利用に関する協定書も新たに取り交わしました。

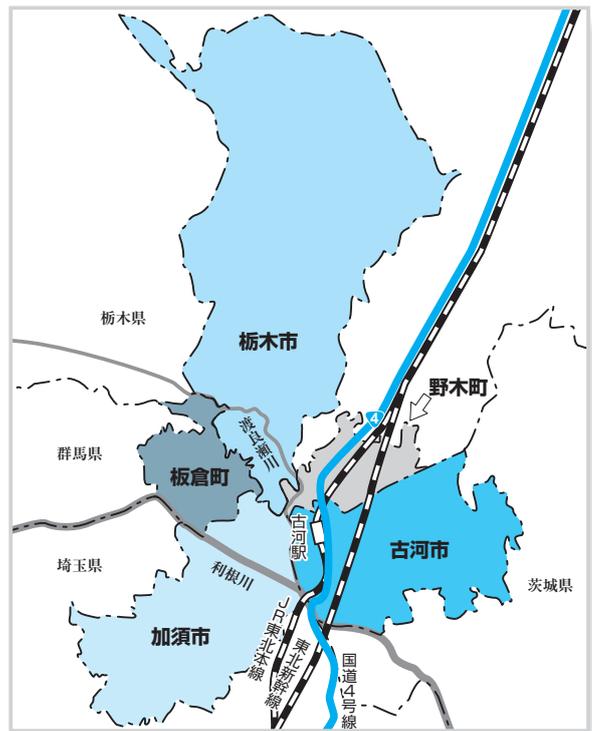
関東4県の県境に位置する隣接自治体が相互に協力・連携することで、魅力ある圏域の形成をめざします。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

10月から公共施設の相互利用が拡大

これまでの加須市・野木町・板倉町の施設と同様に、10月1日からは栃木市の公共施設も、それぞれの住民と同一料金で利用できるようになります。施設名など詳しくは「広報古河お知らせページ10月1日号」でお知らせします。

また、イベント情報や観光情報、施設情報など、互いの広報紙を相互に利用した情報発信を5市町に拡大。「関東どまんなかサミット情報」として、広報紙の相互掲載を行います。



▲5月27日、野木町交流センター「野木ホフマン館」で協定書を取り交わし笑顔で握手をする5市町長(左から栗原板倉町長、大橋加須市長、菅谷古河市長、真瀬野木町長、鈴木栃木市長)

経過

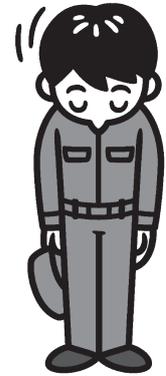
昭和63年 4月25日	三国サミット会議設立(古河市、総和町、北川辺町、野木町)
平成8年 12月2日	「災害時における相互応援に関する協定」の締結
平成9年 5月15日	「公の施設の相互利用に関する協定」の締結
平成27年 1月28日	群馬県板倉町の加入により「関東どまんなかサミット会議」に改称。「災害時における相互応援に関する協定」「公の施設の相互利用に関する協定」の再締結
平成28年 5月27日	栃木県栃木市加入。「災害時における相互応援に関する協定」「公の施設の相互利用に関する協定」の再締結

ごみ収集車の火災が 発生しています！

収集作業中のごみ収集車の火災が発生しています。その原因は、スプレー缶やカセットボンベ缶、ガスライターが積み込まれる際に、残っていた可燃性ガスが噴出し、圧縮時に発生した火花に引火したものと考えられます。

火災事故を防ぐためにも、ごみ出しのルールを再確認し、正しく分別して決められた日に出すなど、皆様のご協力をお願いします。

【問】環境課(三和庁舎) ☎76-1511



🗑️ 昨年度3件の火災が発生

平成27年度、市ではごみ収集作業中の火災が3件発生しました。ごみ収集車の火災は、円滑なごみ収集に影響を与えるだけでなく、爆発による住宅への延焼など、収集作業員や市民の皆さんの命にかかわる重大な事故につながる恐れがあります。



🗑️ 火災を防ぐために

スプレー缶、カセットボンベ缶、ガスライターの分け方と出し方を紹介します。もう一度、ごみ出しのルールを確認し、ごみ収集車の火災事故を防ぎましょう。



透明の袋に入れましょ

■出し方

地区	品目	スプレー缶 カセットボンベ缶	ガスライター (プラスチック製・ 使い捨て)
古河地区		金物類	プラスチック・ せともの類
総和地区 三和地区		カン	不燃ごみ

■出すときの注意事項

- スプレー缶やカセットボンベ缶、ガスライターは、必ず使い切ってください。
- スプレー缶などに穴を開けてガスを抜く場合は、火気のない、屋外の風通しの良い場所で行ってください。
- 集積所に出す際は、他の物とは別の袋に入れ、中身が分かるように出してください。



みんなできつくりよう 安心のまち古河市

防犯は 鍵かけ 声かけ 心がけ

詐欺、盗難、空き巣……。近年、犯罪の手口は巧妙化しており、誰でも被害に遭う可能性があります。

古河市でも、家族を装った二セ電話詐欺や盗難事件が相次いでいます。

「自分だけは大丈夫」と思わずに、日ごろからできることを行い、犯罪を未然に防ぎましょう。

【問】防災交通課(総和庁舎) ☎92-3111

～主な犯罪被害防止対策を紹介します～

【二セ電話詐欺】

市内の平成27年被害状況 19件、約3,700万円



- 「携帯の番号が変わった」と言われたら『オレオレ詐欺』を疑い、必ず家族や身近な人、警察に相談しましょう。また、「風邪をひいたのでいつもと声が違う」と言われた場合も詐欺の可能性がります。
- 公的機関等を騙って「お金が返金されるので携帯電話を持ってATMへ」と言われたら、『還付金詐欺』を疑ってください。
- 身に覚えの無い有料サイト等の料金請求は『架空請求』です。絶対に相手に連絡せず、不安なときは警察に相談しましょう。

犯人は、証拠が残る録音を嫌います。在宅中でも留守番電話を活用しましょう。

【自動車盗難】

市内の平成27年被害状況 58件



- 簡単に破壊できない強固なハンドルロックやチェーン等を使用しましょう。
- 車内にGPS装置を取り付けたり、大きな音を発する警報機を設置したりするのも効果的です。
- 駐車場に防犯カメラを設置するのも盗難抑止効果があります。

犯人は、長時間におよぶ犯行を嫌います。可能な限り複数の対策を講じましょう。

【家屋等への侵入窃盗】

市内の平成27年被害状況

64件



- ドア、窓、シャッターなど防犯性能の高い建物部品 (CP部品) を使用しましょう。
- 玄関や勝手口にセンサー式ライトを設置しましょう。
- 家の周囲に足場となる物を置かないようにしましょう。
- 見通しのよいフェンスを設置するなど、死角を減らしましょう。



◀このマークが目印です

ちょっとした買い物やごみ出しなど、短時間の外出でも必ず施錠しましょう。

ひばりくん防犯メールにご登録を

～警察から防犯情報等を配信します～

配信情報

- 子ども・女性を狙った犯罪や声かけ、不審者情報
- ニセ電話詐欺情報
- 交通事故情報
- 行方不明者等情報
- その他の犯罪情報
- 茨城県警察からのお知らせ

登録方法

右のQRコードを読み込むかメールアドレスに空メールを送信し、案内に従って手続きをしてください

✉ add@mail1.police.pref.ibaraki.jp



注意事項

- 登録は無料です。
- 迷惑メール防止機能を設定している場合は、@以下「mail1.police.pref.ibaraki.jp」からのメール受信ができるように、ドメイン指定の設定を事前に行ってください。
- 茨城県警察が特に必要と判断した情報のみが配信されます。すべての情報が配信されるものではありません。



ひとりで悩まず、まずは相談を

犯罪被害に遭われた人や、その家族からのさまざまな悩み・相談に応じ、必要な支援に関する情報提供や助言を行います。

相談電話

◆ 茨城県犯罪被害者相談窓口

☎ 029-301-7830

◆ (公社)いばらき被害者支援センター

☎ 029-232-2736

※相談無料。秘密は守られます。

産後ケア事業

～産後のママを応援します～

妊娠中や産後はホルモンのバランスが崩れ、体調を壊しやすいにも関わらず、核家族化や地域のつながりの希薄化により、身近な人からの支援を受けることができない妊産婦が増えています。

市では、妊娠・出産・子育て期まで切れ目のない支援に取り組んでいます。平成26年度から実施している「産後ケア事業」について紹介します。



▲市が実施している赤ちゃん訪問

宿泊型産後ケア

病院に宿泊し、ゆっくりと体調を整えながら受けられるサービスです。

場所 秋葉産婦人科病院

(古河市東本町2-9-2)

※他医療機関で出産した人も利用可能。

サービス内容

- ・母体ケア
(健康状態のチェック、乳房ケアなど)
- ・お子さんのケア
(発育、発達、栄養状態のチェックなど)
- ・育児のサポート
(授乳指導、沐浴指導など)
- ・食事の提供

費用

利用料金のうち2割が自己負担

【例】1泊2日の場合

個室：1万2,000円、2人部屋：8,800円

※5日間まで利用ができます(状況によりさらに5日間の延長が可能です)。



訪問型産後ケア

助産師が訪問し、自宅で受けられるサービスです。

サービス内容

- ・母体ケア
(健康状態のチェック、乳房ケアなど)
- ・お子さんのケア
(発育、発達、栄養状態のチェックなど)
- ・赤ちゃんとの生活に慣れるためのサポート
(自宅の環境に合わせた育児指導、相談など)

助産師 秋葉産婦人科病院または船橋レディスクリニックの助産師

費用 利用料金のうち1割が自己負担

【例】1回500円



※宿泊型産後ケアは「秋葉産婦人科病院」、訪問型産後ケアは「秋葉産婦人科病院」と「船橋レディスクリニック」に委託しています。

対象

出産後おおむね1カ月の産婦とそのお子さんで次に該当する人

- ①市内在住の人
 - ②体調不良や育児に不安がある人
 - ③家族などからのサポートが受けられない人
- ※医療行為が必要な人は利用できません。



利用の流れ

①申請

妊娠7カ月から申請できます。
「産後ケア事業利用申請書」を健康づくり課に提出してください。
※申請書は健康づくり課にあります。
持参物 母子健康手帳、印鑑



②計画

赤ちゃんが生まれたら、健康づくり課に連絡してください。どのようなケアが何日必要か相談しながら利用計画を立てます。



③利用開始

利用決定の通知をします。
・宿泊型…母子一緒に病院へ
・訪問型…助産師が自宅を訪問します



④支払い

自己負担金を直接お支払いください。
・宿泊型…利用料金の2割
・訪問型…利用料金の1割

※詳しい利用案内は、市公式ホームページにも掲載しています。

利用者の声



授乳がうまくいかず、育児ができるか不安でした。授乳や沐浴の仕方などを繰り返し指導していただいたので、家に帰ってから自信を持って子育てすることができました。

(初産・宿泊型産後ケア5日間利用)



産後ケア事業、大変良かったです。初めての育児で分からないことだらけで、すべてがおっかなびっくりでした。でも、いろいろ教えていただく中で、自信がついて楽しく育児ができるようになりました。

(初産・訪問型産後ケア5日間利用)

健康づくり課では、妊娠届を提出された妊婦に、保健師や助産師が電話や訪問をすることで、安心して出産・育児ができるようにサポートしています。

今回紹介した産後ケアの利用や、妊娠・出産について不安や心配なことがあれば、ぜひご相談ください。

【問】健康づくり課(古河福祉の森会館) ☎48-6881





古河市景観 まちづくりニュース

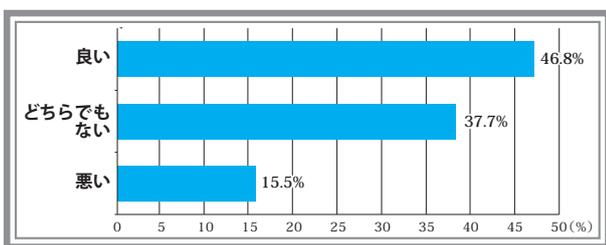
～景観について考えてみましょう～

市では「人・歴史・自然の共演 ふるさと古河の景観舞台づくり」をめざして、まちづくりを進めています。

過去に行った市民アンケートをもとに、市内の景観について、皆さんがどのように感じているか解説していきます。

【問】都市計画課(三和庁舎) ☎76-1511

古河市の景観に対するイメージ



自然と歴史が
調和した風景こそ
古河市が誇る
景観なんですね。

古河市らしい 景観が見られる場所は？

第1位 古河公方公園(413人)

第2位 ネーブルパーク(226人)

第3位 雀神社(213人)

第4位 渡良瀬遊水地・渡良瀬川(196人)

第5位 古河歴史博物館(186人)

連載企画② こが古今東西

坂長本店は、古河城の出城界隈に位置する古くからの建物で、国の登録有形文化財に指定されています。江戸時代から両替商、後に酒問屋として栄えた店でしたが、時代とともにその営みに幕が下ろされました。歴史的技法を用いて修復し、現在は複合施設「お休み処 坂長」として街の新たな役目を果たしています。

○改修前



▲江戸時代から大正時代に建築された歴史を感じる店蔵や袖蔵など

○改修後



▲地域の景観を壊さないよう十分に配慮して、改修工事を行いました

◀当時の面影を残しています

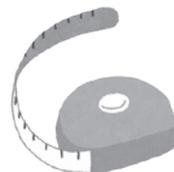
年1回 受けて安心 特定健診！

早めが肝心！ メタボ予防



愛車の車検や手入れは当たり前でも、自分の体の点検は忘れていませんか？生活習慣病予防の第1歩は「体のSOSを見つけること」です。年に1回の特定健診で健康をチェックしましょう。

【問】国保年金課(古河庁舎) ☎22-5111



早めの対応が結局お得

あなたが病気になると、家族の心労を増やし、家計にも負担をかけます。病気が進んでからの治療費は大変です。

糖尿病、脳卒中、しんきんこうそく心筋梗塞、脂質異常症などの生活習慣病の患者は年々増加し、現在では国民医療費のおよそ30%を占めています。軽症のうち

に治療できれば医療費も安くすみます。あなたと家族のために、年1回の体の点検を習慣づけましょう。特定健診は、皆さんが加入している健康保険組合などが実施する「生活習慣病の予防や早期発見、重症化予防を目的とした健診」です。



健診は受けてからが大事

健診結果によって、「動機づけ支援(メタボ予備軍)」と「積極的支援(メタボ該当)」の人には、**特定保健指導の案内**が届きます。

この機会に保健師や管理栄養士のサポートを受けて、生活習慣の改善にチャレンジしましょう。



特定健診のご案内

年間55日間実施している**集団健診**のほかに、医療機関でも**個別健診**が受けられます。都合に合わせてどちらかをご利用ください。※加入している健康保険組合などによって違いがあります。



高齢者の日常生活を 応援します



◀介護予防について体操やレクリエーションなどを交えて楽しく学ぶ「さわやか教室」

市では、高齢期を迎えた人が快適で安定した生活が送れるように、さまざまな高齢福祉在宅サービスを行っています。今回はそのサービス内容を紹介します。なお、介護保険制度を利用できる人は、介護保険サービスの利用が優先になります。

※一部サービスは申請後、生活や身体状況確認のため訪問します。

【問】高齢福祉課(総和福祉センター「健康の駅」) ☎92-5838

軽度生活支援事業

在宅で自立した生活ができるよう、ホームヘルパーによる軽度な家事支援を行います。

対象 支援が必要な65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯

内容 週1回(2時間以内)、次の支援を行います

①家事援助サービス(調理、衣類の洗濯および補修、住居等の清掃および整理整頓、食材料・生活必需品の買い物など)

②公的機関および医療機関への用務など、日常生活に必要な外出等の代行

利用料 1時間あたり200円

生活管理指導短期宿泊サービス

施設への短期の宿泊により、一時保護や生活管理指導を行います。

対象 次のいずれかに該当する65歳以上の人

①虐待等の特別な事情により、緊急的に避難させる必要がある人

②疾病ではないが、体調不良に陥り、一時的に養護する必要がある人

③基本的な生活習慣が欠如し、社会生活への適応が困難な人

内容 原則として7日以内とし、施設に宿泊して一時保護や生活管理指導を行います

利用料 1日438円(食費等実費は施設にお支払いください)

一般高齢者介護予防通所事業

高齢者の社会的孤立感の解消および生活機能の向上を図るため、施設等への通所によりレクリエーション等を行います。

対象 要介護状態になることがないように支援が必要な(自立した)65歳以上の高齢者

内容 レクリエーション・軽度な体操・給食・入浴・送迎等を週1回行います(施設によって内容が異なります)

利用料 500円および食費等

ひとり暮らし 高齢者等 給食サービス

加齢や心身の障がい、傷病等が理由で昼食の調理が困難な人を対象に、食の自立支援・食生活の安定および安否確認のため、お弁当(昼食)を配達します。

対象 65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯
内容 身体状況や家族の状況を調査のうえ、必要な曜日に配達します

利用料 1食300円

ひとり暮らし 高齢者 「愛の定期便」

ひとり暮らしの高齢者の安否確認、孤独感の解消を図るため、週3回乳製品を配達します。

対象 65歳以上のひとり暮らしの高齢者
※家族による見守り、介護保険要支援・要介護認定者等、ヘルパーや他のサービスで週3回安否確認ができる場合は、対象から除きます。

利用料 無料

ひとり暮らし 高齢者等 緊急通報システム

消防署に直接つながる緊急通報装置を設置します。

対象 65歳以上のひとり暮らしの高齢者で、緊急・突発的に生命の重篤な危険が訪れる疾患等がある人

負担 市民税非課税世帯は無料、市民税課税世帯は設置費用の2分の1

日常生活用具給付等事業

防火等の配慮が必要な人や、低所得により自宅に電話を設置できない人を対象に、次の物品の給付・貸与を行います。

対象 65歳以上のひとり暮らしの高齢者

内容

- ①電磁調理器(給付)
- ②電話回線(貸与。ただし、通話料金等は自己負担)

負担 市民税非課税世帯は無料
市民税課税世帯は設置費用の2分の1

訪問理美容サービス

訪問理美容サービス指定事業者が自宅を訪問して理髪を行います。

対象

- ①65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯で、理美容室へ行くことが困難な人
- ②加齢や心身の障がいにより、寝たきりの状態の人

内容 3カ月に1回とし、年1回～4回分の利用券を交付します

助成額 1回あたり2,000円(理髪代1,000円、訪問費用1,000円)

実施機関 市が指定した理美容室に限ります

寝具類洗濯サービス

寝具類の洗濯および乾燥消毒サービスを行い、清潔な住環境を提供します。

対象 65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯で衛生管理が困難な人

内容 敷布団・掛け布団・毛布が対象。年2回分の利用券を交付します

利用料 市民税非課税世帯は無料
市民税課税世帯は1回3,000円

実施機関 市が指定した事業所に限ります



白内障補助眼鏡・補聴器購入費等助成

白内障補助眼鏡や補聴器等の用具の購入費用を助成します。
購入日から1年以内に申請してください。



助成対象品目	対象	助成基準額	利用にあたっての留意事項
白内障補助眼鏡用レンズ	65歳以上の 人	<ul style="list-style-type: none"> 購入費の2分の1以内とし、1万円まで 1人1回1対のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ①白内障手術後においても眼鏡を必要とする人に限ります ②手術後1年以内に購入したものに限ります ③申請には指定の用紙による医師の証明書が必要です
補聴器		<ul style="list-style-type: none"> 購入費の2分の1以内とし、1万円まで 1人1回1台のみ 	聴覚による身体障害者手帳の交付を受けていない人が対象です
ストマ用装具		<ul style="list-style-type: none"> 蓄尿袋 6,000円まで(1カ月) 蓄便袋 5,000円まで(1カ月) 	<ul style="list-style-type: none"> ①ぼうこう、または直腸機能障害による身体障害者手帳の交付を受けていない人が対象です ②他の制度で給付・助成を受けている人は対象外です

はり・きゅう・あんま マッサージ・指圧 施術費助成

はり・きゅう・あんま・マッサージ・指圧に係る費用を一部助成することで、健康維持と心身の安定を図ります。

対象

- ①70歳以上の高齢者
- ②重度心身障がい者

助成額 1回1,000円。年2回分の助成券を交付します

施術機関 市が指定した施術機関に限ります

高齢者通院タクシー助成

自力および家族等による送迎が困難な高齢者が、医療機関へ通院する際のタクシー代を助成します。利用月から2カ月以内に申請してください。

対象 在宅で次の①～③のいずれかに該当する人(自動車税減免、障害者福祉タクシー利用者は利用できません)

- ①65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯
- ②70歳以上の高齢者
- ③要支援・要介護認定者

助成額 1カ月8回(片道を1回とする)までで、運賃総額の半額程度(5,000円上限)



シルバーカー購入費助成事業

シルバーカーを購入した費用の一部を助成します。購入日から1年以内に申請してください。

対象 70歳以上で歩行に不安がある人

助成額 購入費の2分の1(100円未満切り捨て。助成限度額は5,000円)

対象品目

次の①②いずれにも該当するもの

①4輪車で荷物入れの機能があるシルバーカー

②SG規格適合商品

※介護保険福祉用具貸与の対象品となるものは助成の対象外になります。



▲いつでも、どこでも、一人でもできる「シルバーリハビリ体操」

徘徊高齢者家族支援サービス

はいかい
徘徊探知システム端末機を貸与します。

対象

認知症の高齢者を在宅で介護している家族

利用料 月額500円

※端末機の紛失・破損による交換および通話料金は全額自己負担となります。

ねたきり高齢者等 家族介護用品購入費助成

在宅でねたきり等により常時おむつ等が必要な要介護3以上の人を介護している世帯に、購入助成券を交付します。

※医療機関や施設に入院・入所している人は対象外です。

内容 介護用おむつ・使い捨て手袋・使い捨て清しきタオル・尿取りパッドの購入助成券を年2回交付(前期分・後期分)

※前期：4月～9月、後期：10月～3月

助成額 市民税非課税世帯は1カ月6,000円
市民税課税世帯は1カ月3,000円

実施機関 市が指定した販売所に限ります

救急医療情報カプセルの 無料配布

「救急医療情報カプセル」とは、高齢者本人のかかりつけ医療機関や緊急連絡先などを記入した用紙を封入して、冷蔵庫に保管する筒状の容器です。冷蔵庫の外側や玄関の内側には、保管場所を示すシールを貼り、緊急搬送時や災害時に駆け付けた救急隊の迅速な救急活動につながります。

また、緊急連絡先の人へ速やかに連絡し、協力を得ることが可能となります。

対象

①ひとり暮らしの65歳以上の人

②65歳以上の高齢者世帯の人

③日中にひとりになる65歳以上の人で、健康上不安がある人

④身体障害1級・2級・3級(内部障がいのある人)の人、療育手帳[Ⓐ]・Aの人、精神障害者保健福祉手帳1級の人

※救急隊が状況に応じて活用します。ただし、活用を約束する制度ではありません。



冷蔵庫に
保管します



熊本に保健師を派遣 心に寄り添い訪問活動

熊本地震の被災地支援として、5月28日～6月1日まで、古河市役所健康づくり課の長瀬まり子保健師が熊本県菊池郡大津町で災害支援活動を行ってきました。茨城県と県内市町村の合同派遣チームの一員として派遣され、避難所での健康相談や衛生対策、在宅避難者の家庭訪問活動などを行いました。

古河市が被災したときのことも考えながら活動にあたったという長瀬保健師。「いつ、何が起こるかわからない災害。今回の経験で、日ごろから災害に備えなければならないと強く感じました」と話します。

市では、今後も熊本地震被災地への支援を続けていきます。



▲派遣前、菅谷市長から激励を受ける長瀬保健師（左）



◀被災者の心に寄り添い、話をよく聞くことを心がけたという長瀬保健師（左）

茨城国体に向けて 「古河市綱引連盟」が発足



古河市は3年後の2019(平成31)年、「いきいき茨城ゆめ国体2019」の綱引競技開催都市です。市民の綱引競技への意識を高め、愛好者を増やすために「古河市綱引連盟」が発足し、6月2日に設立総会が開催されました。

設立総会では連盟登録9チームの代表や連盟設立準備委員会の委員等が出席。規約や役員、事業計画等が審議され、連盟の会長に中村清氏が選任されました。

今後、連盟では綱引大会の開催等を通じて茨城国体に向けて競技を盛り上げ、地元チームの国体出場を目標に活動していきます。



◀今年度は、9月と2月に綱引大会を開催予定

ご利用
ください

市役所総和第2庁舎に 授乳室完成

市役所総和第2庁舎に授乳室が完成し、6月1日から乳児を連れて市役所を訪れた市民が利用できるようになりました。

授乳室は「子育て支援課」や「子ども入園課」のある総和第2庁舎2階の西側階段脇にあり、ベビーカーのまま入室することが可能です。室内には、ゆったりと授乳することができるよう背もたれのあるイスや、おむつ替えベッドが設置されています。

市役所にお越しの際は、ぜひお気軽にご利用ください。



▲市では、安心して子育てができるよう、さまざまな施策に取り組んでいます



▲市長と教育委員会で構成される「古河市総合教育会議」。より充実した教育行政の推進をめざして、活発な意見が交わされます

黙ったまま座っている。下を向いて固まっている人も。まるで集団見合いのようだが、「見合い」ではない。長テーブルで四角く囲った三方の席には、PTA会長さんを中心とする保護者や先生方。向かいの席に私、副市長、教育長。そして教育関係の職員たち。しばし緊張。PTAと市三役との「教育懇談会」は初めてだから。

互いの紹介が終わり、学校や家庭が直面する課題や問題が出席者から提起されると、その一つひとつが真剣に論議され、やがて話し合いが佳境に入っていく。

「運道具や楽器が古い。足らない」「公民館の学習室が狭い」「大会出場の補助金を手厚く」「市バスの利用拡大

を」「おいしい給食を」などの要望ばかりではない。

「通学路の防犯カメラはどこに設置？」「先生不足の対策は？」「学力アップはどうしたら？」「小中連携や一貫校をどう進めるのか？」「古河塾をもっと充実させる考えは？」「高校生の学習支援は？」「予備校や民間塾との連携はどのように？」「タブレット教育の成果と目標は？」「低学年の英語教育はいつから？」等々、かなり突っ込んだ質問に、私ばかりでなく、

教育懇談会
「出席してよかった。
また参加します」

副市長や教育長も言葉を選びながらの答弁だ。

教育懇談会を企画したのは、昨年4月に地方教育行政法が改正されたからに他ならない。

子どもの「虐待」「いじめ」「自殺」など、暗いニュースが後を絶たない。今、新制度は、教育行政における責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築等に加え、地域の民意を代表する首長との連携強化を必要としているのだ。すなわち、首長と教育委員会が教育

政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを強く求めていることから、私はまず学校現場の「生の声」を聞くことが不可欠と考え、PTAとの話し合いを提案。実施のさなかにある。

中学校9校の教育懇談会が2月に終了し、5月から小学校23校で順次開催している。どの学校も開始前と終了後とで、保護者の表情がまるで違う。

「誘われたときは嫌でしたが、出席してよかった」「また参加します」「定期的に開催してください」と、励ましの声までいただける。

懇談会が終わっても、廊下や玄関口で立ち話が続くこともたびたび。保護者特に母親の教育にかける情熱は凄（すご）い。「切実な願いを、可能な限り教育行政に反映させねば」との思いにいつも駆（か）られてしまう。

教育懇談会で教えられることがたくさんある。これからもPTAとともに学校教育を真剣に考え、充実させたい。



古河市長
菅谷 憲一郎

注目! まちの話題

魂
グ
ふ
つ
か
る
肉
弾
戦
ラ
グ
ビー
プレ
シー
ズ
ン
マ
ツ
チ

5月21日、日野自動車(株)の地域交流事業として、ラグビープレシーズンマッチが中央運動公園陸上競技場で行われました。当日は日野自動車レッドドルフィンズとセコムラガッツが対戦。流れるようなパス回しと、気迫あふれるタックルでセコムラガッツを圧倒。59対7で日野自動車が勝利しました。

また、三和高等学校ラグビー部が得点掲示など試合運営のボランティアを行い、目の前で繰り広げられた熱い試合に刺激を受けていました。



▲屈強なラグーマンのプレーは迫力満点



地域の仲間が一丸となって真剣勝負 行政自治会親善ソフトボール大会



▲一進一退の攻防に観客も手に汗を握りながら応援していました

6月5日、第7回古河市行政自治会親善ソフトボール大会が上大野グラウンド他6会場で開催され、84チーム・約1,500人が参加しました。

地域の親睦を深めることが目的であるこの大会。和やかな談笑の時間もありますが、試合開始とともにみんな真剣な眼差しに一変します。打球がきれいな放物線を描いて飛んでいくたびに、ベンチに座る仲間が身を乗り出し、打球の行方を目で追いかけて、大きな歓声が沸き起こっていました。



夜空に輝く光の華の祭典 花火大会を百倍楽しむ方法



▲花火玉の外側に、クラフト紙を何重にも重ねる「玉貼り」を体験

今秋開講予定の「古河市民大学」のプレ講座として、4月～6月にかけて「花火学講座」が開催されました。講師は、毎年古河花火大会を演出している花火師の江森賢一さん。花火の構造や仕組みなどの座学や、花火製造工場の見学が行われました。職人だからこそ知る花火大会の裏話に、受講生は興味津々。熱心にメモを取り、次々と質問をしていました。

三尺玉やメロディー付きスターメインなど迫力満点の「古河花火大会」。知られざる花火の秘密を学んだ皆さんは、8月6日の花火大会が今から待ち遠しく感じていることでしょう。



108点が展示
第6回古河さつき・盆栽展



▲色鮮やかな花や緑が来場者を楽しませました

5月27日～29日にかけて、中央公民館で「第6回古河さつき・盆栽展」が開催され、愛好家が丹精込めて育てた作品108点が展示されました。赤やピンク、白など色とりどりのさつきや松・モミジ・グミの木などの盆栽が会場を彩りました。

来場者同士で感想を述べ合いながら、1点1点をじっくりと鑑賞。愛情いっぱい育てられ咲き誇った花や青々とした葉、躍動感あふれる樹形に魅了されていました。

また、会場の外では即売会も開催され、愛好家とのふれあいも楽しんでいました。



夫婦で学ぶ父親学級
～学校給食でコミュニケーション～



▲「パパに手伝ってもらいたい日常のこと」の質問に照れ笑いしながら答え合わせ

ママに集中してしまいがちな育児や家事。産前・産後または乳幼児を持つ夫婦を対象に、パパとママがお互いの悩みを共有し理解することを目的に、家族間のコミュニケーションの方法を学ぶ父親学級が、学校給食センターで5月25日に開催されました。

ワークショップでは、3キロの水袋を赤ちゃんに見立て、90分間抱っこしながら講義を受けるなど、育児と家事を両立する大変さを体験したパパたち。普段ママに頼りきりなことを認識し、いつも以上に感謝していました。



第26回古河を
追いかけて
自分の青春を
思い出す
大会

第26回古河市マスターズサッカー大会が5月21日・22日・28日・29日の4日間、古河市サッカー場およびリバーフィールド古河で行われました。

首都圏を中心に128チーム・約2,000人のサッカー好きが集まり、キックオフの笛とともにフィールドを駆ける姿は少年そのもの。

真夏を思わせる快晴の中でも、ベンチからの大きな声援に後押しされ、疲れを知らない選手たちは、勝利を目指し一丸となっていました。

両チーム一步も譲らない熱いプレーも試合終了となればみんな笑顔で握手。チームの壁を感じさせないサッカー談義が、新緑のまぶしいグラウンドに華を咲かせていました。



▲この日のために練習を重ね、最高のコンディションで臨んでいました

▶ゴールへ向けて狙いを定めたセンターリング



キラッ! 輝く人たち

3月30日、大田区民プラザを会場に開催された「第16回全日本アールンピアノコンペティション総合全国大会」において、金賞を受賞した若井由梨さん。昨年12月には「第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会」に出場するなど、小学生のころから数々のコンクールで活躍しています。

曲が伝える楽しさや悲しみといった感情をピアノで表現する若井さんに、ますます高まるピアノへの思いを伺いました。

ピアノとの出会い

「幼少のころ、母と一緒に風呂に入っていると、いつも創作で歌をつくって歌っていたそうです。その歌を聴いていた両親が『音楽をやらせてみよう』と思ったのが、私がピアノを習い始めたきっかけです」。近所のピアノ教室に通い始めたのは3歳のときでした。

ピアノの思い出は、小学4年生のときに出場した「ピティナ・ピアノコンペティション」というコンクール。「本選への出場を目標に無我夢中で練習しました。今、思い返すと、夢中になれることを見つけられた瞬間でした。奨励賞で悔しい思いもしましたが、ちゃんと結果がでたことが嬉しかった」と話す若井さん。ピアノに対する気持ちが前向きに変化した大きな出来事となりました。

勉強と両立しながらピアノに向き合う

中学校は他県の私立中学校に進学。全寮制のため、ピアノの練習時間は限られました。校内にピアノを弾ける部屋があり、そこで毎日1時間半程度、個人で練習を重ねる日々。

「もっとピアノを弾きたい」。中学3年生の秋に音楽大学附属高校の受験を決心しました。音大附属を目指す人たちの中では、圧倒的に不足していた練習量。「時間が限られているからこそ、練習にも集中ができたと思い

「ありのままの自分を表現したい」

若井 由梨さん（18歳・駒羽根）



ます」と、目標に向かって精いっぱい取り組んだ日々を振り返ります。

さらなる飛躍を

高校生活の集大成として臨んだ「第16回全日本アールンピアノコンペティション総合全国大会」。本人は、金賞受賞を手放しでは喜んでいません。「結果に満足しちゃいけないと思っています。満足してしまうと次に繋がられないから」と、自分に厳しい一面をのぞかせます。

この春、音楽大学に入学したばかり。将来の夢を聞いてみると、「オーケストラと共演し、ピアノ協奏曲を弾きたい」「学校で子どもたちに音楽を教えながら、コンサートにも出てみたい」と話してくれました。

ピアノを通じて、恩師や友人、たくさんの素晴らしい出会いがあり、その一つひとつの出来事が心の支えになっているという若井さん。これからの活躍を楽しみにしています。



▲雅美ピアノ教室コンサートにて

図書館のオススメ

【一般書】

○恭一郎と七人の叔母

おぼ

小路幸也 著

女系大家族に暮らす更屋恭一郎には、七人の叔母がいる。母を含めた八人姉妹は、みなそれぞれに個性豊かで魅力的。彼女たちを間近で見ていた恭一郎が語る、ちょっと懐かしく新しい家族小説。『読楽』掲載を加筆修正し単行本化。

出版社…徳間書店

分類…Fシ

○スープ日乗

びより

辰巳芳子 著

鎌倉の辰巳邸で開かれているスープ教室で語られたすべての言葉を記録した講義録。四季折々の素材を使ったスープの作り方はもちろん、辰巳芳子が自らの経験から培った食、家族、自然等との向き合い方、人

生哲学を語る。
出版社…文藝春秋
分類…596タ

【絵本】

○まーだだよ

間部香代 作

ひろかわさえこ 絵

こぶたくんがお母さんとかくれんぼ。「まーだだよ」とかくれようとするたびに……。ふたりでの遊びからみんなとの遊びへ。春の光のなかで、こぶたくんの世界がほんの少し広がります。

出版社…鈴木出版

分類…Eマ

【児童書】

○ななこ姉ちゃん

宮崎貞夫 著

翔太が小学1年のとき、6歳年上のななこ姉ちゃんに出会った。両親のいない姉ちゃんは、美容院で働くために町を離れていった。あれから3年、「太鼓祭り」が好きな姉ちゃんが、翔太の町に帰ってきて……。出版社…学研プラス

分類…913ナ

古河図書館

注目 企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～ 「ミスのない正確な仕事を心がけて」

山中建設工業株式会社 香取 恋 さん

住宅や工場、店舗などの建設全般を手がける会社で、見積書や注文書の作成など、経理・事務担当として働く入社3年目の香取さん。

常に心がけているのは仕事の正確さ。小さなことでも間違えてしまうと、お客様や会社に迷惑をかけてしまうので、何度も確認をしてミスをしないように気を付けています。

職場で娘のようにかわいがられている香取さんは「社長や先輩に古民家再生の現場を見せてもらったり、建築図面の見方などをやさしく教えてもらえたりするので、事務以外の仕事も覚えることができ、毎日仕事が楽しい」と笑顔で話してくれました。

友達は進学を機に市外に行ってしまった

が、地元の会社に就職し、社会人として経験を積んだことで、「冷静に物事を判断できるようになり、この会社で働くことができ、本当に良かった」と振り返ります。

「地元若い人が集える場がもっと増えて、市外に出た友達が古河に帰りたいなど思えるにぎやかな街になってもらいたい」と語る恋には、古河市の将来像がしっかりと映っていました。

■プロフィール

読書が趣味で文庫本であればすぐ読み終わってしまう速読の持ち主。

20歳・谷貝在住。



食生活のリズムを整えましょう

最近では、朝ごはんを食べない子どもが増えています。これは、夜更かしをする子が多くなっているのが一因です。

夜更かしをすると朝がなかなか起きられず、食事の時間がないため朝食が食べられません。また、夜更かしをして夜遅く食事をする、翌朝は食欲がわかず、朝食を食べることができなくなってしまいます。

1日3食、きちんと食事をとるには、「早寝・早起き」が大切です。

朝食抜きは危険がいっぱい

朝食には、寝ている間に消費されたエネルギーや、これから活動する脳や体に必要な栄養素を補充する役割があります。

朝食を抜くと、昼食までエネルギーが空っぽの状態のまま無理やり体や脳をはたらかせている状態になります。そのため、体がだるくなったり、頭がボーッとしたりします。しかも、空腹感がイライラを募らせ、集中力もなくなってしまい、やる気が出ずに昼食まで過ごすことになりかねません。

朝ごはんを食べると、胃が活動を開始し、体温が上がって、体や脳に刺激が伝わります。すると、体が目覚めて全身に力がいきわたり、活発に

活動できるようになります。1日の活動源として、朝食はきちんととりましょう。

朝食抜きは肥満・便秘のもと

太りぎみ、あるいは食べ過ぎを防ぐために朝食を抜くと、体は次の食事のときにしっかりと吸収しようと態勢を整えます。つまり、普通以上に受け入れ体制を万全にしてしまい、かえって太りやすい体質をつくってしまいます。また、食事を抜くと次の食事では早食い、どか食いをしてしまいがちです。

食事は、胃腸も刺激します。特に朝の食事は規則的な便通をつけるのに有効です。朝、しっかり食べると余計な間食もしないで済み、栄養のバランスもとりやすくなります。

食事やおやつの時間は決まっていますか？

皆様のご家庭では、忙しくて食事の時間がバラバラになっていませんか。

食事やおやつの時間が不規則だと、生活全体も不規則になりがちです。私たちの体には体内リズムがあり、不規則な生活を続けると体調もくずれます。

子どもころから不規則な食事をしていると、大人になってもそれが当たり前

なってしまいます。忙しくて、生活が不規則になりがちなたとに、3度の食事とおやつを規則的にして、生活リズムの節目にしましょう。

夜遅い食事は気を付けよう

朝の食事は活動源ですが、動くことの少ない夜にたくさん食べると、それは使われずに脂肪として蓄えられてしまいます。

しかも、夜、お腹がいっぱいの状態で寝ると、翌朝は食欲がわきません。朝食をおいしく食べるためにも、夜遅くに何かを食べるのはなるべく避けましょう。どうしてもその時は、脂肪分が少なく消化のよい、温かいものを食べるようにしましょう。

日ごろから「早寝、早起き」の習慣を身に付けましょう。そして、1日3食、規則正しい食習慣を身に付けられるよう家族で食卓を囲み、朝ごはんをしっかり食べる食生活のリズムをつくりましょう。

健康づくり課



憩いのパークの魅力

大賀ハスのおはなし



◀ピンクの大輪が、訪れる人たちの目を楽しませてくれます

7月は大賀ハスの見ごろが最盛期を迎えます。今では、花桃に次ぐ古河公方公園を代表する花になりました。6月に入ると公園事務所には市内外から見ごろの問い合わせが後を絶ちません。今回は、大賀ハスの歴史を振り返ってみたいと思います。

昭和26(1951)年、千葉市で約2,000年前の地層から古代ハスの実3個が発掘され、うち1個の発芽に成功。発掘した大賀一郎博士の名にちなみ「大賀ハス」と名付けられました。

古河公方公園の大賀ハスは、昭和50(1975)年に千葉市からハスの根2本をいただいたことに始まります。公園に植えられた大賀ハスは、その年の夏に花を咲かせ、まちの話題となりました。

その後、ハス池は拡張され、現在の面積は3,000㎡ほどです。ハスの花は朝4～5時ごろから開き始め、大きく開くのは7～9時ごろ、昼に

は大半が閉じます。

ハスの花の寿命は4日と短く、1日目は「とっくり型」、2日目は「おわん型」、3日目は完全に開いて、4日目には散り始めます。

夏の朝、早起きをして「太古の昔、ハスはどんな景色の中で咲いていたのだろうか」、「古代の人々は、今と同じであろうハスの花を見てどう感じたのか」など思いを巡らせながら、ハス池を散策されてはいかがでしょうか。

ハスのもう一つの楽しみ、花が終わった後の果托があります。50円で販売していますので、インテリアや手芸の材料にいかがでしょうか。

【問】古河公方公園(古河総合公園)管理棟 ☎47-1129



◀果托は管理棟で販売しています



表紙写真



いよいよ来月8月5日に開幕するリオデジャネイロ五輪。古河市出身の山室光史選手(コナミスポーツクラブ所属)が、体操男子の代表選手に決定しました。ロンドン五輪に引き続き2大会連続の代表入り。団体での金メダル獲得を目標に大舞台に挑みます。

古河市からも熱い声援を送りましょう。

「がんばれ、山室選手！」



寄付



齊藤一恵さん(女沼)より、障がい福祉施策への活用として30万円の寄付。

古河地区危険物安全協会(齊藤一恵会長)より、12万5,300円の寄付。

ライオンズクラブ国際協会333-E地区(下川利澄地区ガバナー)より、リバーフィールド古河内のサッカー場等整備費として50万円の寄付。

古河市データ

人口

(6月1日現在) 住民基本台帳から	
総人口	144,218人 (-93)
男	72,524人 (-54)
女	71,694人 (-39)
世帯数	59,165世帯 (-3)
() 内は前月比	

わが家のアイドル



宇津木 隼翔くん (1歳4カ月・諸川)

いたずらっこで、いつもニコニコのしゅんとくん。おねえちゃんと遊ぶのが大好き。2人の姿をみてパパとママは毎日癒されています。これからも元気いっぱい^{いっぴ}のしゅんとくんでいてね♥ (父：雄佑 母：一恵)

今月の料理

焼き野菜のカレーソース

<高血圧予防食>

- ①カボチャ150g、ナス1本、ゴーヤ1/2本を薄切りにする。
- ②フライパンに油小さじ2を入れ、①の野菜を弱火でゆっくり焼く。
- ③カレー粉小さじ1/2、トマトケチャップ大さじ1、しょうゆ小さじ1/2、水大さじ1/2をすべて合わせて、とろみがでるまで煮詰める(電子レンジでも良い)。
- ④野菜を盛り付けて、ソースをかける。

(1人分)
エネルギー=70kcal
タンパク質=1.4g
脂質=2.2g
カルシウム=15mg
食塩相当量=0.2g



(食生活改善推進協議会)

●市内幼稚園・保育園等が交替でこのコーナーを担当しています。



子育てアドバイス



安全に楽しくプール遊び

子どもたちの好きな夏の遊びは何といてもプール遊びです。水と戯れることの楽しさ、開放感、心地よさなどから多くの子どもたちは、歓声をあげながら元気いっぱい遊びます。

でも、なかには水に不安を感じてしまう子もいます。そんなときは無理をせず、水遊びから徐々に慣れるといいですね。

水遊びを楽しくするためのおもちゃ作りも親子で楽しめます。ペットボトルやジャンプの空き容器を数色のカラービニールテープで飾ればでき上がり。ペットボトルをハサミ等で切った場合は切り口でけがをしないよう、しっかりビニールテープで留めましょう。

さて、プール遊びは楽しい反面、水の事故は生命の危険度が高く、安全への配慮が重要です。次のことに十分注意しましょう。



三和幼稚園

- ① プール遊びの際は子どもから「目を離さない」「離れない」
 - ② プールの水は張ったままにせず、使い終わったらすぐに排水
 - ③ 子どもの健康状態をよく観察し、次のような様子が見られたらプール遊びを中止する
 - ・ 風邪の症状や微熱があるとき
 - ・ 下痢^{げり}気味のとき
 - ・ 治療中の疾患があるとき
 - ・ 目や皮膚の異常があるときなど
- この夏、安全に楽しく、プール遊びで丈夫な体をつくりましょう。

平成28年7月1日発行

●発行所/〒306-0291 茨城県古河市下大野2248 古河市役所
●編集/秘書広報課 ●ホームページ/ <http://www.city.jhnraki-kogae.jp/>

☎0280(92)3111